

13. EMI試験室の種類

種類	設置場所	実施する主な試験	主な用途
オープン テストサイト (OTS)	屋外	妨害波電界強度測定	評価
電波暗室	室内	妨害波電界強度測定、磁界測定 伝導妨害波測定、雑音電力測定	評価・対策
簡易電波暗室	室内	妨害波電界強度測定、磁界測定 伝導妨害波測定	対策
シールドルーム	室内	伝導妨害波測定、雑音電力測定	評価・対策

福島県ハイテクプラザ EMC-ロメモ③

EMI試験を行う試験室(測定サイト)にはいくつか種類があり、試験項目や使用目的によって使い分けられます。

製品認証試験や規格適合性試験を行う場合には、規格で決められた特性を満たしている測定サイト(OTSや電波暗室)で試験を実施する必要があります。

ただし、被試験体の大きさや試験項目等、試験の目的にあったOTSや電波暗室を選択する必要があります。

簡易電波暗室は、一般的には天井が低く、測定アンテナを1~4mの高さで昇降することはできませんが、製品開発段階での予備試験やノイズ対策等に頻繁に用いられます。

※「資料を読まれる方に」もお読みください。